

広島の せいぎょう

平和とより良き生活のために

2013.APR.
VOL.40

広島県生活協同組合連合会 発行
2013年4月1日

〒730-0802 広島市中区本川2-6-11 第7ウエノヤビル TEL 082-532-1300 FAX 082-232-8100
E-mail : kenren.h@proof.ocn.ne.jp URL : <http://hiroshima.kenren-coop.jp>

DENMARK LOLLAND 島

特集 ■ HYGGE の 国を訪ねて… 『後編』

特集：HYGGE の国を訪ねて…

- ・ LOLLAND 島……………表紙・1-8
- ・ 北欧から私たちが学べること
- ・ 北欧視察から考える日本の食について
- 事務局だより……………9・10
- ・ 新春学習会・消費税しらべ・新年挨拶
- 審議会報告・理事会報告
- 会員生協だより……………11・12
- ・ 「新共立病院着工」 広島医療生協
- ・ 「キープステーション開所」 グリーンコープひろしま
- ・ 「住まいと暮らしの防災保障点検運動」
- 広島県労働者共済生活協同組合
- ・ 「移動店舗2号車」「サッカー教室」 生協ひろしま
- 「東日本エイドファイナル」 報告……………13
- 「ラオススタディツアーに参加して」……………13
- 消費者ネット広島活動状況……………14
- 広島県消費者団体連絡協議会の取り組み……………14
- TOPICS……………15
- ・ 『生協と平和』
- (公財) 広島平和文化センター
- 理事長 スティーブン・リーパー
- ・ お知らせ
- 子どもによる子どものための碑めぐりガイド
- 2013「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い

DENMARK LOLLAND 島



通訳の北村明子さんとレオ・クリステンセンさん

ニールセン北村明子さん

デンマーク・ロラン島在住。ジャーナリスト、コーディネーター、アドバイザー。

会社員、アメリカ留学を経て、フリーの映像、翻訳家として独立。2001年よりロラン島に移住したことがきっかけで、環境エネルギー問題や持続可能な社会への関心が芽生え、取材活動を開始。日本のメディアや企業のための取材、撮影、視察コーディネート幅広く手がける、再生可能エネルギー、環境、食など、地球と人にうれしいライフスタイル追求がライフワーク。森の幼稚園運営委員、ロラン市地域活性化委員会を歴任。デンマーク・インターナショナル・プレスセンター・メディア代表メンバー。2012年デンマーク・ジャーナリスト協会東デンマーク地区ジャーナリスト賞（Kreds2Pris）受賞。

レオ・クリステンセンさん

ロラン島を先進環境自治体に導いた立役者の一人。ロラン市議会議員。

「浮体式風力発電」

栈橋前の広場で、通訳のニールセン北村明子さんと案内役のレオ・クリステンセンさんと合流する。

レオ・クリステンセンさんの先導でまず訪れたのは、港。港内には港特有のクレーンを見ることができ、大きな船が係留されている。ここはかつて「造船の島」だったという活字を目に



浮体式洋上風力発電装置

風力発電の新しい試みが…

したことが思い起こされる。私たちが立つ岸壁の端には、風車を載せた栈橋のようなものが2艘係留されている。この風車は、「浮体式洋上風力発電装置」で、洋上に浮かべた風車と浮体の両方で発電する実験装置だ。高さ10数メートルの風車を備えた発電装置は、2つとも洋上実験のためにつくられたものである。目の前の装置は、洋上実験で使われ修復のためにドック入りしたものだ。

浮体式発電装置は、浮体部の上に取り付けられた風車で発電するとともに、浮体が波によって揺れ動くことによっても発電できる仕組みとなっている。世界でも初の試みだということだ。浮体式にした理由は、洋上



洋上風力発電装置について説明するレオさんと北村さん

に設置する風力発電装置は、海底に基礎を固定する工事だけでなく大変な経費がかかるため、風力発電の海上設置費用を軽減するために考えられたものであると同時に、波のうねりを発電のエネルギーとして利用するものである。実際に導入される装置はこの6〜10倍の規模（大きさ）になるという。この数値からも、洋上風力発電装置の規模の大きさをうかがい知ることができる。



ロラン島の港には大きな船が係留されていて、「造船の島」の名残をとどめている

特集

HYGGE の国を訪ねて…

『後編』

風の島

DENMARK LOLLAND 島

最初に迎えてくれたのは「風」

午前7時、オーデンセのホテルを車で出発して南に下り、LANGERLAND 島を経て8時にフェリーに乗船、約1時間の航海でロラン島に到着。

ロラン島は、パンケーキを伏せたような平たい島で、風をさえぎるものがない。そのため強い風が常に吹いている。フェリー



ー栈橋に続く広場で車を降りたとき、「われわれを最初に迎えてくれたのは「風」であった」と詩的な言葉を口にする者がいた。それだけ強い風が印象的だった。

「ロラン島」

ロラン島は「風の島」と言われるほどに、風力発電に適したデンマークの中でも特に風況のいいところである。また、肥

育な土地を利用して甜菜（ビート）の栽培を主産業としているが、かつては、海に囲まれた条件を生かして「造船の島」としても栄えた歴史を持つ。現在のロラン島には、たくさん風車立ち、ロラン島と隣のファルスタ島で必要な電力の5倍もの電力を、主に風力で発電している。余った電気はコペンハーゲンなどの大きな都市部へと送られている。最近では、こうした風力発電をより有効に活用するために、余った電力で水を電気分解し、水素として貯めて水素電池として必要ときに各家庭で使える世界初の「水素コミュニティの実証実験」も実施している。また、世界初の藻を利用して水を浄化し、藻から様々なハイバリュール・コンポーネントを取り出し、残りはガス化して電気や熱を作り、最後の残りカスを天然の肥料として畑に戻す、という試みも始まろうとしている。島のゴミ処理場やワラを燃料とした発電所はコジェネレーション、発生した熱は、暖房や温水として町に供給しており、地域暖房で使っている燃料もすべてバイオマスやバイオガス資源で賄っている。

DENMARK LOLLAND



風力発電で名が知られる前は、ロラン島のもう一つの産業は「造船」であった。しかし、造船業は時代の趨勢によってアジアや他の国々に主役を奪われ

い産業として島に雇用を生んだが、これもその後衰退する。現在では海外企業、とくに中国の企業にその座を奪われることとなり、島からの撤退を余儀なく

ここに建てられたままとなっている。設置された風車の鉄塔の基礎部分に人間が4、5人立っても柱の方がまだ大きい。風車の鉄塔の高さ80メートル、ブ

れ衰退した。かわって島の産業の主役として登場したのが、風

力発電装置の巨大さ

されたのである。

力を主体とする自然エネルギー発電と、そのための「風車」をつくる産業だった。デンマーク

の風力発電普及の主役として成長した、風力発電装置製造会社「ヴェスタス社」は、ピークに

は世界でも指折りの企業として発展した。ロラン島へのヴェスタス社の進出は、島に残された

かつての造船技術をうまく利用したものだった。同社は、新し

い産業として島に雇用を生んだが、これもその後衰退する。現在では海外企業、とくに中国の企業にその座を奪われることとなり、島からの撤退を余儀なく

レオさんの「風車を見ますか？」という提案で、全員で地上に建てられた風車を見に行き、広大な甜菜畑に囲まれた灌漑水路のそばに3基の風力発電塔が建っている。「ブウーン、ブウーン」と空気を揺るがす独特な音を発している3基の風車は、本来は海上に設置するために地上で試験運転を行うためのものだが、海上には移されずに

レードの長さを加えると地上120メートルの高さになる。巨大だ。発電能力1機1・2メガワット、この風力発電機1台が3時間発電するだけで、一般家庭の1年分の電力を賄うことができる。この大きさの風力発電風車が、ここロラン島には600基も設置されているのであるから、この地の発電規模の大きさが想像できる。

高さ120mにもなる巨大な風車。その柱の大きさは人と比べてみるとよくわかる



DENMARK LOLLAND



ロラン島の自然エネルギーについて説明するレオさん。前方の建物は廃棄物処理工場だ

廃棄物はすべて再利用

廃棄物処理場

次に案内されたのは、かつてこの島を支えた造船所があった工場跡地を望む数メートルの丘の上。丘には、コンテナを倍にしたような青色の箱形の建築物がある。レオさんの説明では「廃棄物処理場」だということだ。視察団一行とレオさんたちが立っている広大な土地一帯は、ロラン島の廃棄物（ゴミ）処理場となっている。

レオさんは周囲を指差しながら、丘から見える周辺設備や建物のことを説明してくれる。目の前のブルーで塗装された大形コンテナ状の建物は「廃棄ゴミ処理施設」、丘の下に広がるのは、バイオマス燃料（主として可燃ゴミと廃材）を利用した「発電所兼熱エネルギー供給センター」である。ロラン島で出される可燃ゴミはすべてここで焼却され、「熱エネルギー」として冬の暖房や、温水として各家庭に供給される。この熱エネルギーセンターの一つの特色は、バイオ燃料を燃やした後の「灰」をできるだけ出さない工夫がなされており、最終的に残った灰は肥料（リンなど）として有効活用されることだ。



広い敷地はロラン島の廃棄物埋立場



向こうに見える建物はエネルギーセンター

島の産業

丘からは、エネルギーセンターの続きに数本のクレーン塔を見ることができた。かつてこの島の産業の主役であった造船所跡地だ。北海、バルト海と国土の大半が海に浮かぶ国デンマークは、かつては海洋王国として栄えた。

産業の盛衰に苦しむ

丘のすぐ下には、フェンスで囲われた広い敷地があり、敷地内には十数メートルもの長さの風力発電用風車の羽根（ブレード）がいくつも保管されている。かつて、造船に替わって島の産業を支えた風力発電メーカー「ヴェスタス社」の製品である。しかし、同社はロラン島からすでに撤退してしまっている。初



風車の羽根（ブレード）が広場におかれたままに…



かつてこの島の産業を支えた造船所跡

のため、ここはもともと農業の島としてその名が知られていた。島の主要作物は小麦と甜菜（ビート）である。今日では、広大な島の農地のほとんどが甜菜畑で、島内には製糖工場もあって「白いダイヤモンド」と称される砂糖の生産地としてロラン島の一方の経済を支えている。

冬の強い風を受け、吹きさらしの敷地に並べられているブレードが、現在のロラン島が置かれている状況を象徴しているようだ。

ロラン島は土壌が肥沃だということである。しかも土地にほとんど起伏がなく農作物をつくるにはうってつけの土地だ。そ

DENMARK LOLLAND



ロラン島の自然エネルギーと住民の考え方を説明するレオさん。日本の東北の復興支援についても熱く語った

持続可能な未来社会づくり

レオさんは、これまでの実際の施設や設備の説明で、ロラン島が自然エネルギーの島だということのをわれわれに強く印象づけた。島の施設での昼食の後に、レオさんはスクリーンに映像を映しながら、あらためてロラン島の状況を説明してくれる。

デンマークの自然エネルギー利用「風力発電」は、デンマークの西地区（ヨーロップ大陸との陸続き部）から始まった。ロラン島の自然エネルギー利用（風力発電）は、北欧諸国で自然エネルギー熱が高まった後である。今でこそ、風力発電の先駆的土地として知られているが、もともと北欧の国々はドイツも含めて、自然エネルギー利用は世界に先立っていたのである。ロラン島の自然エネルギー利用は、島の主産業である甜菜栽培と「造船」の衰退によって、島民の危機感から生まれたものである。レオさんは、ロラン島で風力発電に着目し、自分たちの手で風力発電導入を図った先駆者の一人である。そして、現在の肩書きはロラン市の市議会議員でもある。

ロラン島を先進環境自治体に導いたレオさんは、ロラン島の

DENMARK LOLLAND

教育のために
つくられた施設

H2インタラクシオン
この施設は、訪問者（主として子どもたち）に、「自然エネルギー」と「水素」について知ってもらう施設である。レオさんたちは、風力発電に続いて、次のエネルギー「水素」に着目している。主要産業である風力発電メーカーのベスタ社のロラン島からの撤退を見た後、「風力発電だけに留まっていたのでは島の産業の将来はない」とレオさんたちは考えた。島民というよりも、デンマーク国全体の持続的発展を考えた方向へと転換したのである。その手始めが、最初に案内された「浮体式洋上風力発電」である。そして、廃棄ガスを出さない自然エネルギー「水素」にも着目した。現在、ロラン島の風力発電で発電された余剰電力を利用して、水を電気分解してできる「水素」を発生させる試みが実験段階に入っている。現実には、島の2軒の家に余剰電力で発生させた水素を供給し、「燃料電池」（水素が化学的反応をすることで電気を発生する）を設置し利用する試みがなされている。レオさんは、「水素は水を分解すればできる。また、電力は夜間の余剰電力がある」といい、水素はほとんど無限にあつてこのシステ



自然エネルギーについて模型でわかりやすく理解できる

ムは、公害も発生しないという。H2インタラクシオンは、さまざまな装置やゲームを楽しみながら、子どもも大人も楽しんで水素と自然エネルギーについて学ぶことができる施設だ。レオさんは、「環境問題や自然エネルギーについて人々を教育するには、子どもを先にすべきです。大人は考えが硬直していて、なかなか新しい考えは受け入れない。だから、頭の柔らかい子どもから先に学習してもらって、それを子どもから大人に伝えるようにする」ということを強調される。このH2インタラクシオンは、そのための施設だということだ。館内には、ゲームや映像機器の他、一角に水素を利用する「燃料電池」を備えたキッチンも設けられており、具体的な「水素」利用がわかるように工夫されている。

産業の衰退と変遷によって、島民が苦しい思いをしたことを知っているだけに、自然エネルギー利用については人一倍力を注いでいる。また、一昨年の日本の3・11「東日本大震災」についても強い関心を持っている。「脱原発」を含めた「自然エネルギー推進」をレオさんたちは、強く押し進めていて、日本に赴いて「自然エネルギー利用」をアドバイスし、東北地方の「再生」にも一役買っている。現在のロラン島は、風力発電によって世界的に有名になっているが、先に紹介したヴェスタ社の撤退など、経済産業の衰退や変遷によって、人びとの生活が脅かされることを懸念している。実際に、ロラン島の風力発電は、この島に必要な電力量を十分に賄えるだけでなく、ストックホルムなどの大都市にも電力を供給している。つまり、ロラン島の風力発電は、電力を輸出する「産業」として成長しているのである。ここまで来ると、レオさんをはじめ、島の先駆的指導者たちのたゆまない努力があったからに他ならない。

しかし、レオさんたちは風力



パンケーキのようなロランの見渡す限りの広大な甜菜畑

「藻」イノベーション
ここでは、世界で初めてとなる「藻」の栽培を行い、藻の栽培、生育を経てバイオ燃料・自然肥料をつくるという、持続可能な未来に向けての取り組みを行っている。長さ3 m、縦 1.5 m、高さ1 mの水槽が10個ばかり置かれ、そのなかで藻が培養されている。そばには直径5 cmあまりの透明なパイプが腸のように折り曲げられたものもあって、そのなかを藻が混じった水がゆつくりと流れ、パイプを緑色に染めている。藻を利用して水を浄化し、藻から様々なハイバリュウ・コンポーネントを取り出し、残りはガス化して電気や熱を作り、最後の残りカスを天然の肥料として土壌に戻す、という試みが実験段階に入っている。



「藻イノベーション」の培養槽と培養装置



水素電池を備えた台所の実験設備も備えられている（下）



訪れる人がゲームを楽しむようにして自然エネルギーについて学ぶことができる「H2インタラクシオン」の室内。さまざまな展示があつて、訪問者は、その一つひとつにさわって、さまざまなことを理解できる。

SWEDEN & DENMARK

表 1 日本と北欧の比較

	日本	デンマーク	スウェーデン
幸福度ランキング (位)	90	1	7
2011 年名目 GDP (10 億 US\$)	5,867	332	545
同ランキング (位)	3	32	21
2011 年名目一人当 GDP (US\$)	45,870	59,709	57,638
同ランキング (位)	17	7	8
穀物 (食糧) 自給率 (重量ベース: %)	26	125	120
同ランキング (位)	127	23	26
食料自給率 (カロリーベース: %)	39 (2011 年)	300 (推定)	78 (2009 年)
教育財政支出の割合対 GDP (%)	3.3	6.5	6.2

表 2 自給率の計算

1. 食料自給率 (カロリーベース) =	一人一日の国産熱量 (941kcal)
	一人一日当たりの供給熱量 (2,436kcal)

2. 幸福度世界一の食料事情

表 1 は、日本と視察先 2 各

1. はじめに
2012 年国際協同組合年にあたり、「ひろしま実行委員会」では、食料 (Food) と環境・エネルギー (Energy) と医療・福祉 (Care) の自給圏確立に向け、FEC それぞれの分野でアクションプログラムを策定し、平和を強く願う広島の地より発信して行くこととした。

その一環である今回の北欧 (デンマーク・スウェーデン) 視察研修は、先進的で成果が上がっている福祉とエネルギーが中心で、食に関する研修は、ほとんどなかったものの、命の根源である食について感じたところをまとめてみた。



広島県農業協同組合中央会
専務理事 坂本 和博

国際協同組合年北欧視察から考える日本の食について

国の比較表である。幸福度世界 1 位のデンマークと 90 位の日本は、日本が GDP では大きく上回っているものの、食料並びに穀物自給率は、デンマークが非常に高い自給率を確保している。

カロリーベースの食料自給率は、表 2 に示しているように、一人一日当たりの供給熱量の内、国内生産でまかなえる割合を示したものである。

我が国の食料自給率は、1965 年の 73% から年々低下し、2011 年は 39% で主要先進国の中でも最低の水準にある。

一方、デンマークは、第一次世界大戦中にイギリスによって食料封鎖され、そのため食料増産と栄養学の二つ視点から国を挙げて取り組み、現在は食料自給率 300% に達している。

カロリーベースの食料自給率は、農業生産と食生活の両面が影響しており、自給率アップには、その両面からの改善が必要となる。

内橋克人氏は、とりわけ食糧の自給圏を強調されており、「食料」は一般的な食べ物を表すが、「食糧」は米や麦さらに大豆など穀物を表し、正に主食として我々の命の源である。

食糧安全保障の面からも重要

知らなかった事実

ヴァイジュアル気候センター
ヴァイジュアル気候センターは、デンマーク最古の砂糖工場だった建物の中につくられた教育施設だ。

館内の円形の映像室には、中央に直径 3 m 近い巨大な白い球体があり、この球体に地球の姿が投映される。装置を開発したのはアメリカの NASA で、世界に 82 個、韓国にはあつて日本にはない、ヨーロッパには 5 個しかないという希少なものである。球体に映し出される映像は、あたかも観測衛星から見たごとく迫力に満ちている。さまざまな気象状況、雲の動き、台

風やハリケーンの発生、もしくは、現時点で世界中の航空機が飛んでいる生の状況、そのスピード、数がリアルタイムで映し出される。

圧巻は、東日本大震災の映像である。東北沖で発生した大地震と世界中への津波の伝播の様子がリアルに映像として映し出される。また、東京電力福島原子力発電所の水蒸気爆発で空中に拡散した放射性物質の北半球への伝搬の様子も、実に生々しく映し出される。この映像は、われわれ日本人は誰もがお目にかかつていないものである。マスコミも報道していない。放射

北欧から私達が学べること、日本でこれから私達がやっていくべきこと



大西 康史

まず、貴重な研修にご一緒させていただいたことを関係各者に感謝申し上げます。

限られた紙面の中で、皆様には「北欧からのどんな学びをお伝えしようか」と考えたとき、私は、「北欧

は『当たり前』のことを、当たり前前にしてきた社会であるということ」を最も伝えたいと思いました。以下では、これについて、少し述べたいと思います。

『当たり前』のことをすることには、言葉にすると簡単ですが、実践するととなると、今の日本社会では大変難しくなつてきています。

例を挙げると、例えば、今の環境問題の多くは、「ヒトが地球 (自然環境) の身の丈に合ったことをやらなくなつてきたこと」に原因があります。そして、これに対処

するには、例えば、エネルギーに関することであれば、地球の身の丈に合ったサイズ (省エネ) にすると同時に、どうしても必要なエネルギーは、地球の身の丈に合ったもの (再エネ) に置き換えることがポイントであり、これは誰しもが理解できることだと思います。つまり、この場合、省エネと再エネの促進が『当たり前』となります。そして、北欧ではこの『当たり前』に当たり前に取り組んでいます。一方で、今の日本社会では、この『当たり前』

を進めようとするれば、多くのこと、例えば、既得権益と言われるものであったり、が立ちはだかります。しかし、これを実践するためには、例えば、一部の者のみが持つ高度な知識や技術は必ずしも必要ありません。むしろ、誰もが使える汎用性の高いローテクが大事であり、また、その知識等をいかに適切に扱えるかが、より重要です。今号でご紹介の、藻を使った取組はまさにローテクですし、北欧で取り組まれてきた様々な再エネ促進の仕組みは、まさに扱い方に関する

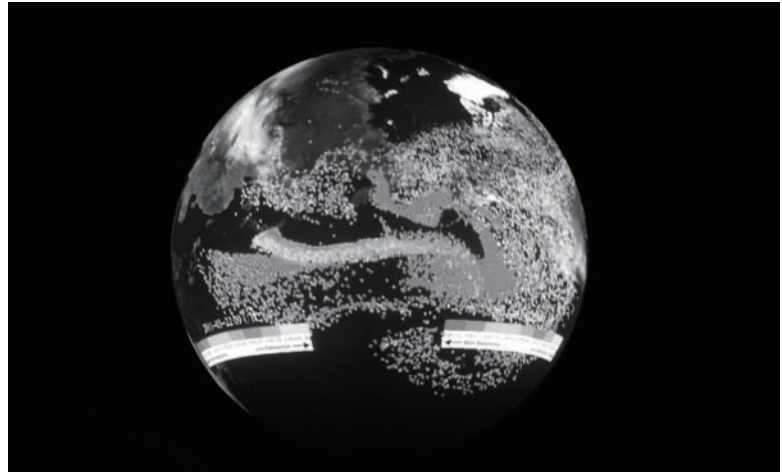
ものです。

即ち、『当たり前』を進めることは、決して私達が出来ないことではないことも北欧の事例は示してくれます。そして、これは私達が学べて実践できることです。

例えば、「消費活動」という、私達だからこそ出来る活動を通じて、技術や知識は、既に私達の手の届くところにあります。

日本においても、これから、私達の力で、ともに『当たり前』を進め、より良い社会を築いていければと思います。

環境力ワンセラー・
広島連塾 Ssus ☆テラス事務局長
大西 康史

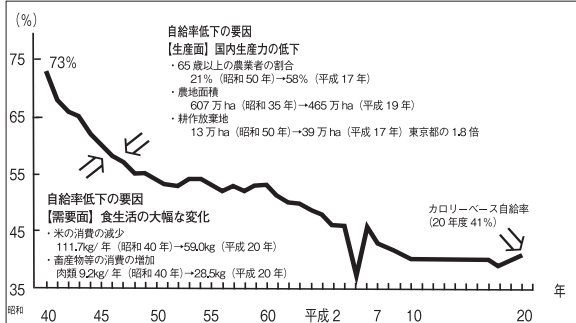


「ヴァイジュアル気候センター」 上は、東日本大地震の原発事故による放射性物質拡散状況



「ヴァイジュアル気候センター」 建物、東日本大地震の津波の太平洋上への伝搬状況が映し出される

表 3 食料自給率の推移



デンマークは、小国で、大に囲まれており、国民は国際的な視点を持って「世界の中で自立する仕組みをつくる」という教育を何世代もつないできた結果が、幸福度世界一位の元となる FEC の自給圏を確立してきたのだろう。

スウェーデンは、「国は国民の家」といわれ、2 国とも国そのものが「協同組合」そのものであった。

協同組合は、教育に始まり教育に終わるといわれ、また、組合員 (国民) の三位一体性「出資者 (納税者等)」「利用者 (地産地消等)」「参画 (選挙等)」が言われ、今回の視察研修で協同組合こそが北欧の幸福度を日本で実現できると強く感じた。

DENMARK LOLLAND

2013年新春学習会を開催

「組合員のマンパワーを全面に生かす南医療生協の実践に学ぶ」

日時 2013年1月9日(水)
会場 メルパルク広島
【式典】

主催者挨拶では、岡村会長理事より、「ポストIYC(国際協同組合年)」の今年は、創立45周年の昨年策定した「広島県生協連の2020年ビジョン」にもとづき、「誰もが安心してくらせる持続可能な地域コミュニティの再生」に向けた実践スタートの年、との決意が述べられました。



主催者挨拶：岡村会長理事

続いて、ご来賓を代表して、梅木敏明広島県環境県民局長と坂本和博広島県農業協同組合中央会専務理事から、くらしの安全・安心についての生協の幅広い取り組みへの評価と期待のご挨拶をいただきました。



来賓挨拶：梅木広島県環境県民局長



「組合員が考え出資金も集めた歯科は開所初日から予約でいっぱい」と事例を紹介する成瀬南医療生協専務

【記念講演】

テーマ「ささえあいたすけあい わちあいのまちづくり」

南医療生協のチャレンジ」

講師 成瀬幸雄

南医療生活協同組合専務理事「みんながつてみんないいひとりのいのち輝くまちづくり」を基本理念に、「組合員と職員の合意形成づくり」を追及する南医療生活協同組合(名古屋市)の実践について、成瀬専務に講演いただきました。

新規事業を始める際に、組合員の合意をもとに、地域住民の理解も深めながら、組合員の力を核に進める姿勢は、「組合員・地域の願いを協同の力で実現する」という協同組合の原点そのもの。ニーズ発の「自分たちの生協」だからこそ、経営も安定し、更なる事業へのチャレンジも可能とする実践に、予定規模を大きく上回る170名の参加者からは、「大いに刺激を受けた、今後の活動に活かしたい」との声が多数寄せられました。

消費税しるべ

逆進性が顕著

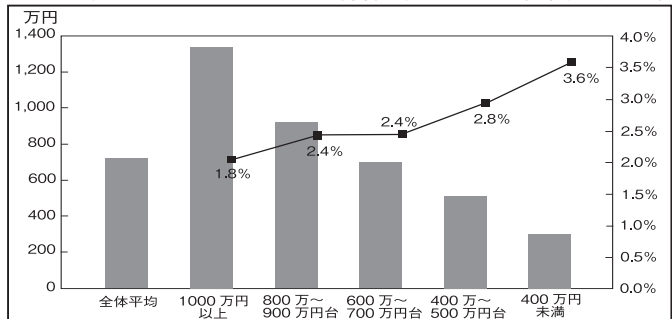
広島県生協連では、毎年家計調査を行っています。この調査は主に社会保障や税の負担を数値化して把握するために組合員モニターに参加を呼びかけて行っています。

1989年消費税が実施された時には大人も子供も賛否両論物議を醸した消費税ですが、いつの間にか当たり前のように定着した感の強い消費税。一部を除いてすべての消費行動に一律5%の消費税の徴収は本当に平等な税制度でしょうか。疑問が残ります。家計簿モニターからも消費税の税率アップについては食料品を除外するなどの変更を加味しながら検討してもらいたいという声が少なくありません。

さて、2012年の消費税しるべに72世帯の家計簿モニターの協力がありました。一世帯当りの年間消費税額は平均168,488円でした。(平均年収704.5万円)これを所得階層別にみると年収1000万円以上の世帯が231,664円、

400万円未満の世帯が97,586円です。グラフは収入を五つに区分けして消費税負担率(消費税額÷実収入)を比較したものです。1000万円以上の世帯の負担は1.8%に対して400万円以下の世帯は3.6%となり逆進性が顕著です。

2012年1月～12月までの所得階層別に見る消費税負担率



消費税がこれ以上上がっていくと…

	全体平均 (704.5万円)	1000万円以上	600万～700万円台	400万円未満
5% (現行)	168,488	231,664	173,035	97,586
8%になると	269,582	370,662	276,857	156,138
10%になると	336,997	463,328	346,071	195,172

年間的生活費の中でこんなにも消費税を払っているのかと思った。これから10%まで跳ね上がる消費税を考えると、今の倍の税を払う計算になる。給料は上がらない。しかし、光熱費にも食品にも消費税がかかる。これから先、ますます家計を圧迫していく。爪に火をともしような生活をしているというのにまだまだ追い込まれていくのかという気持ちになる。(五七歳)

県知事と市長が「生協に期待」

1月4日(金)広島県生協連と生協ひろしま役員が広島県湯崎知事と広島市松井市長を訪ね、生協の活動を報告するとともに今後についての懇談を行いました。話題の中心はいずれも高齢化社会への対応をどうしていくかということ。生協ひろしまからは移動店舗の取り組み状況や「寄ってこゝ家」などを報告しました。松井市長は「高齢化社会への対応をしなければ住みよい町とはいえない」と発言、生協の地域の取り組みへの評価と期待が述べられました。



生協の広報誌をみる湯崎知事



松井市長との懇談風景

審議会報告

広島県生協連は広島県の審議会や協議会等の委員の委嘱を受けています。その中から、今回は2会議について委員より会の紹介をします。

広島県森林審議会

森林審議会は山根恒弘さん(広島県木材組合連合会会長)を会長に大学教授やNPOの代表など森林と深くかわつておられる方々で構成されています。県の森林計画の諮問を受けたり「広島県の森づくり事業」や木質バイオマス等、政策の重要方針を議論する場で、いろいろな角度からの意見が飛び交う審議会となります。森林は人間に必要な水、空気、食料エネルギー、材料などすべての恵みを与えてくれます。森林のそばで暮らす大きな安心に包まれます。しかし自然(森林)から遠く離れて住まう人たちにもっと森林のことを考えて…といったのも難しいでしょう。気づいたものが出来るところから動くことしかないなと思いつつ、今日も薪を割っています。

広島県生協連コープアドバイザー

桜井陽子

広島県食育推進会議

県の食育推進計画は、基本理念を「食に関する適切な判断力を養い、生涯にわたって健全な

県連が参加する 主な審議会・協議会
広島県環境審議会
広島県森林審議会
広島県消費生活審議会
広島県営住宅管理審議会
広島県生活衛生適正化審議会
広島県食品安全推進協議会
広島県食育推進会議
広島県医療安全推進協議会

食生活を実現することにより、県民の心身の健康増進と豊かな人間形成を目指し、県民、関係団体及び事業者等の協働・連携により展開すること」とし、平成20年3月に策定されました。(5カ年計画)私は改定にあたり、目標値の評価や国の第2次食育推進基本計画に基づき、基本的な目標や施策、目標項目、具体的な取組等、方向性を協議する会議に参加しました。

改定にあたっては、県民が生活習慣病の予防及び改善のための食育の取組をライフステージに応じて実践するとともに、食に関する理解を深め、心身ともに健康な生活を実現することに取り組んでいくこととしています。みんなでもっと食に関心をもち、家族での共食の時間を大切にしながら食事バランスガイド等を利用した食生活を送ることや生活習慣病にならないようライフステージに応じた取組を実践するなどして健康な生活を送りたいものです。

(理事 上田久子)

広島県生協連第5回理事会を開催

日時 2月20日(水) 13時30分
場所 第7ウエノヤビル4階研修室

出席 18名中14名出席(理事16名中12名出席、監事2名中2名出席)

(出席理事) 岡村、高田、岡野、盛谷、難波、馬場、上田、川本、斉藤、高橋、武田、乃美(出席監事) 小泉、花田

議決事項

各事項について資料にもとづき提案説明を行い、全員異議なく承認決定した。
(第1号議案) 2013年度通常総会について
(第2号議案) 2013年度他団体会費について
(第3号議案) 日本生協連中国地連連合委員の推薦について
(第4号議案) 映画「ワーカーズ」上映への協賛・協賛金について
(第5号議案) 「廃墟と再生」中西繁展in広島 後援について

協議事項

各事項について資料にもとづき提案説明を行い、協議の結果、全事項確認した。
(第6号議案) 2012年度のまとめと2013年度方針(案)について
(第7号議案) 2013年度職員人事について

報告事項

各事項について資料にもとづき

報告を行い全事項について確認した。

(第8号議案) 報告事項

- 2013年県連新春学習会報告
- 2013市民平和行進広島県連絡会・発足会報告
- 核兵器廃絶・市民のつどい第1回実行委員会報告
- 第5回組織委員会報告
- 第4回福祉事業推進協議会報告
- 広島県森林審議会報告
- 広島県食育推進会議報告
- 広島県プラチナ世代支援協議会報告
- 広島県食品安全推進協議会報告
- 食の安全委員会報告

予定事項

- 各事項について資料にもとづき説明を行い、全事項について確認した。
- (第9号議案) 予定事項
- 2013年度初級職員研修会について
- 高齢者の消費者被害防止シンポジウムの開催について
- 改定「生協監事監査基準モデル」説明会について
- 生協法に関わる省令・告示改正案のパブリックコメントについて
- 理事会終了後、盛谷常務理事を講師に、『社会福祉と税』(日本医療福祉生協連社会福祉と税パンフレット使用)の学習会を開催した。

新広島共立病院3月いよいよ着工 誰もが安心して住み続けられるまちの新たな拠点に

広島医療生協

4年間の準備を経て
新たなスタート

2007年に策定した前回の長期計画で新病院建設の構想を検討する目標をかかげて以降、2009年に病院前土地を入手し本格的な準備を開始、この間、地域では医療福祉生協の運動を広げながら、新しい医療構想を検討してきました。また、土地問題などの難題をひとつひとつクリアし、ようやく着工にこぎつけました。運動面では新病院を直接ささえる出資金増資は3年間で3億5千万円を超える協力が寄せられ、財政基盤の強化の大きな支えとなっています。医療構想では地域の急性期から回復期の医療を担う役割をよりいっそう発展させるとともに、がん医療の分野では新たに緩和ケア病棟を開設することにより、これまでの地域の組合員の予防活動、健診による早期発見、手術をふくむ治療に加え、終末期の療養生活の支援までがんに対する一貫した取り組みが前進し、この分野での地域のニーズにいつそう応えることが可能になります。



まちづくりに貢献する施設としての発展めざし

新しい病院は現在の規模の1.5倍近い大きな施設となります。また、旧施設については、本館は取り壊して駐車場とし

「着工を祝う会」に

300人が参加

3月4日からの着工を前に、3月2日には「着工を祝う会」を開催しました。時折、小雨が降る寒い日でしたが、「祝う会」には周防から猿回しも祝福にかけつけ、地域の組合員と職員合わせて300人が参加しました。最後に参加者全員で縄を引っ張り、杭打ち式を行い、新たな飛躍をめざして決意を固めました。



すが、東館など2施設は介護等新たな事業活動や組合員センターなどの施設として有効活用する予定です。今後、多くの組合員のみなさんの意見を聞きながら構想を固めます。私たち医療福祉生協は「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」が大きなテーマです。まちづくりとは、施設づくりに留まらず、「人と人とのつながりを豊かにし、人々の安心安全をつくりだすこと」ともいえます。新しい病院とその周辺施設が地域にそびえ立つ施設ではなく、人々の豊かな交流の場として発展するよう竣工までの期間に組合員のみなさんとともにさらに検討をすすめます。

グリーンコープ生協ひろしまでは、組合員の長年の夢であった「お店」の実現に向けて、2011年度より検討を開始しました。

では初めての「お店」ということもあり、来られる組合員さんは期待に胸を膨らませていらっしゃるのですが、申し訳ない気持ちもあります。それでも今まで協同購入でしか買えなかった商品が実際に目で見、手にとって買える喜びは、多くの組合員さんを笑顔にしています。まだまだ、スタートしたばかりなのでこれからが本番ですが、

「キープステーション」開所

グリーンコープ生協ひろしま

しかし、今回の「お店」は活動組合員が中心となり、地域組合員さんにアンケートをおこなう、「お店の名前」や「どのような商品を置くのか」などを組合員と一緒に検討して進めていきました。その結果、現在広島で3箇所（安佐南区・東広島市・福山市）のキープステーションが配送センター内に開所しました。



安佐南のキープステーション。右は東広島支部組合員の手作り看板

限られたスペースでどのように陳列をするのか、組合員さんが商品を引き取りに來られた時におすすめの出来るためにどのような工夫が出来るのか。などを組合員が中心となり、現在も運営を行っています。

グリーンコープ生協ひろしま

生協ひろしま

移動店舗2号車が営業開始

2012年11月19日（月）、生協ひろしま移動店舗2号車が、営業を開始しました。これは買物に行くことが困難なお年

寄りなどの普段の生活にお役に立つと同時に、地域のコミュニ



入り口の屋根を跳ね上げ式にするなど一部改良された2号車



約500品目を品揃えています



予約をお受けすることもできます



「お久しぶり！」と、あいさつの後に始まる井戸端会議

は、広島県がすすめる「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」として安芸高田市向原町の「寄り合い処ささき亭」でも営業、行政と一体となった地域づくりに協力する体制をより強化することができました。

サンフレッチェとサッカー教室

2012年12月2日（日）、広島市南区でサンフレッチェ広島と共催で第2回ファミリースタッカースクールを開催しました。スクールには、サンフレッチェ広島の塩谷、大崎、西岡の3選手が参加。約1時間半、憧れのリーガーと一緒にボールを蹴り、プロの技術を目の前に、子どもたちの目は終始輝いていました。また当日は、スクールだけでなく、サンフレッチェ広島のトレーナーの野村博幸さんから「食とスポーツ」についての話を親子で聞き、体作りに必要な栄養についても学びまし

た。運動後の食事の摂取タイミングなど、専門家のお話を聞き、参加者からは「へえー」の声。「子どもたちのフィジカルコーチは保護者のみなさんです」という言葉に深くうなづく保護者の姿が見られました。



『住まいと暮らしの防災保障運動』



全労済では現在『住まいと暮らしの防災保障点検運動』の取り組みを行なっています。忘れることのできない東日本大震災から2年が過ぎました。全労済はこの東日本大震災において1200億円を超える共済金のお支払いをし、組合員の皆様の生活再建に役立つことができました。しかし、私たちの災害に対する備えは決して充分だったとはいえません。

＊

この『住まいと暮らしの防災保障点検運動』は、思い知らされた災害に対する私たちの無防備さについて克服することを目的としています。今後の（必ず来る）災害を想定して、「3つの視点」で対策をしておくことが必要です。

■視点その1

災害前に『備える』
まず火災などを起こさないよう自らが気をつける。地震に備えて家具の固定など安全対策に「備える」。防災用品、非常持ち出し品などの物の備えも必要です。

■視点その2

災害時に『守る』
災害時に起こる状況を想定して火災や風水害、地震などから自身の身を守る行動をシミュレーションしておくことです。

■視点その3

広島県本部

（広島県労働者共済生活協同組合）
〒732-8505 広島市東区曙4-1-28
☎0120-39-6031

福山支所

（広島県労働者共済生活協同組合）
〒721-0942 福山市引野町5-10-35
☎0120-43-6031



低学年と高学年に別れて開講されました。写真は高学年の部に参加された皆さん



塩谷選手からボールを奪おうとする子どもたち



野村トレーナーにアスリートは食にも気をつけているというお話を聞きました



「食」についての話は、親子で一緒に聞きました

東日本エイドファイナル

2013年3月10日（日）開催

東日本エイド実行委員会

代表 岡村信秀

2011年3月11日に発生した東日本大震災は東京電力福島第一原子力発電所の原発事故も重なり、被災者や被災地住民を今なお苦しめ続けています。被災地は地震・津波・放射能汚染・風評被害の4重苦と闘いながら、日常のくらしや故郷の復旧・復興をめざし頑張っておられます。

そのような中、広島で活動しているアーティストや3県人会（岩手、宮城、福島）、生協・JAなどの有志が集まり、2011年3月に「東日本エイド」実行委員会を立ち上げました。この実行委員会は、1995年に発生した阪神淡路大震災のおり、広島で実施したチャリティーコンサート「阪神エイド」が母体となっています。第1回目は2011年4月末からの連休中に実施し、その後回を重ね今回で5回目となります。

当初から2年間継続することを確認して実施してきたコンサートのチケット売上金は、合計500万円を超え、そのすべて



を岩手・宮城・福島の3県の災害対策本部へ送金しました。最終回の今回は神楽が大好きな子ども5人で結成した「あおぞら子ども神楽団」からはじまり、広島宮城県人会、広島ジュニア・マリンバ・アンサンブルなど総勢15組が出演し、大きな感動と共感を得ることができました。

私たちは、東日本大震災のことを決して忘れてはならないと思います。一瞬のうちに普通の生活を破壊し、明日への希望も喪失させる自然災害。突然襲ってくる自然災害から生命やくらしを守るためには、地域ぐるみの日常的な防災・減災の取り組みや人と人の結びつき、さらにはグローバルな連帯が大切となってきます。被災地の一日も早い復興を願って東日本エイドは解散します。

ラオス・スタディツアーに参加して…

2013年2月17～24日（公財）日本ユニセフ協会主催のラオス・スタディツアーに参加させて頂きました。生協の「ラオス指定募金」からは、これまでの20年間に総額3億3500万円を越える支援を頂いています。今回はラオスの子どもたちの状況と、ラオスでユニセフ募金がどう活用されているかを、実際に現地で視察してきました。



ナムデーマイ村の就学前教育。左に立っているのがボーサー先生

インドシナ半島中部の内陸国であるラオスは、途上国の中でも最も厳しい状況にある低開発国の一つです。国土の大半が山岳地帯であり、交通困難な場所もあります。また、ラオスは約半数を占めるラオ族を含め49とも50とも言われる多民族・多言語の国でもあります。そして、そのことは基礎教育普及への大きな障害ともなっています。

さて、今回の視察対象は、ラオス北部のルアンナムター、ムアンシン近郊の少数民族村落における教育プログラムを中心としたものでした。その中からユニセフ・ラオス事務所の支援

ら、小学校を続けることのできない子どもたちが多くいます。こういった子どもたちの小学校への定着率を上げるために、初等教育の準備として行うのが就学前教育です。就学前教育の指導には、各村落のボランティアティーチャーが当たります。これは教師不足を補うために、一定の教育を受けた地域の若者を

消費者ネット広島

消費者ネット広島は、消費者団体訴訟制度を活用して少額多発する消費トラブルに歯止めをかけたいという意志で、生協関係の皆様にも多大なご支援をいただきながら活動を行っています。理事会の下に組織された検討委員会（消費者問題の専門家組織）では消費者情報を精査しキャンペーン等に対して、改善を求める事業者など地方消費者行政の活性化にも貢献しています。

祭の互助会の解約手数料、自動車学校の中途解約等について検討中です。問い合わせや回答は主として書面ですが、中には説明のために来所される事業者もあります。活動は



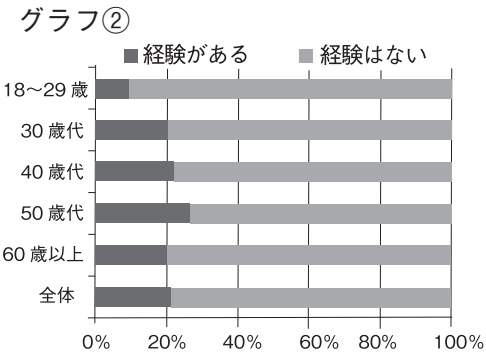
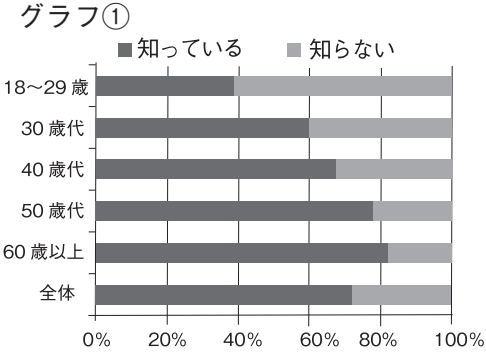
2012年度の主な活動	日時・場所
消費生活弁護士相談会（広島市消費者月間行事 内）	2012.5.19 広島市消費生活センター研修室
消費者支援功労者表彰（内閣府特命担当大臣表彰）	2012.5.28 首相官邸（表彰式）
総会・記念講演「消費者県連法改正とその背景」 講師：野々山 宏氏 国民生活センター理事長	2012.6.9（土） 広島 YMCA コンベンションホール
消費生活相談員養成講座・講師派遣（広島県委託事業） （受講者：広島85名、福山47名）	2012.6.16～7.29 （2会場各8回）
消費生活相談員等レベルアップ研修・講師派遣（広島県委託事業）	2012.9.26～2013.1.31 全11回
高齢消費者等見守りサポーター養成研修会（広島県委託事業）	2012.7.27～2013.3.31 （10市町 12か所）
高齢者の消費者被害防止シンポジウム（写真） 基調講演 『老いの安全・安心を守る』 講師 樋口恵子さん 高齢社会をよくする女性の会理事長	2013.2.25 広島県民文化センター

広島県消費者団体連絡協議会の動き

広島県消費者団体連絡協議会では、毎年、食の安全や環境消費者問題などについて調査活動を行っています。2012年度は、「消費者問題」について2009年度に実施した調査の追跡調査という形で行いました。

回答者の世代別構成は、20～30代の比較的若い層が10%前後の割合に対して、60歳以上が全体の約3割を占めています。

消費者相談窓口の認知度や消費者被害に遭った経験、消費者相談窓口についての意見、被害をなくすために必要だと思うことなど、8つの設問に対して無記名で回答していただきました。



2010年4月、県内23のすべての市町に消費者相談窓口についての認知度を尋ねたところ、約7割が知っているに答えました。世代別では若い世代ほど、知らないとの回答が多くなっています。（グラフ①参照）

自己責任という言葉がよく使われますが、高齢者などが被害に遭わないような見守りの仕組みの充実が大事な課題です。また、教育現場との連携や家庭での環境づくりも急がれます。親世代の意識の希薄さの中では、保護者と子どもが一緒に学習するような場があるかと思われま

消費者被害をなくすために必要だと思うこと（前回調査との比較）		
	2009年調査	2012年調査
悪質業者の取り締まり強化	76.7	77.2
高齢者等が被害に遭わないよう隣近所で見守る	46.7	47.2
行政や関係機関がリーフレットなどで住民に情報提供する	-	41.0
家族で話をする	46.9	38.1
消費者問題を学校教育に取り入れる	32.1	32.5
相談窓口の充実	23.8	26.3
啓発のための学習会に参加する	21.4	20.7
その他	2.5	3.0

生協と 平和

(公財) 広島平和文化センター
理事長 スティーブン・リーパー

全国の生協の皆さんには、この6年間、平和市長会議や2020ビジョンキャンペーンに対する多大なご協力をいただいていたことに、心からお礼申し上げます。平和市長会議として、生協はかけがえのない協力者です。生協は直接草の根に呼びかけることができ、平和市長会議の署名集めに何十万筆もの署名を集めてくださいました。現在、平和市長会議は、ニューヨークの国連本部で、集まった署名を展示しています。これは、生協の協力なしには起こり得なかったことでしよう。

*

我々にとって次のステップは、スイスが主導している核兵器を非合法化する新たな動きを広げることです。現在、35カ国がこの動きに加わっています。日本はまだです。平和市長会議と生協、日本国民にとって、最優先課題は日本政府をこの動きの熱心で、誠実な支持者にすることです。これは、我々が声をあげ

ではじめて実現できることです。3月4日と5日に、ノルウェーのオスロで重要な国際会議が開かれます。テーマは核兵器がもたらす「破滅的な人道的結果」です。4月の下旬にはスイスのジュネーブでNPT(核拡散防止条約)再検討会議の準備委員会が開催されます。これらの会議から核兵器廃絶、あるいは非合法化のためのグローバルキャンペーンへの機運が高まることを切に願っています。日本では、生協がこのキャンペーンの大き



な推進役を担われるであろうと期待しています。

*

一方で、生協と農協には、日本の食糧自給率を高めるといってもう一つの主要な課題があります。日本にとって、食糧の6割を輸入に頼り続けることは危険きわまりないことです。さらに、日本は、石油とエネルギーが高騰する世界で生きて行く準備を今すぐ始めなければなりません。生協は、オイルなしで、はるか

に少ないエネルギーを使う暮らしを提言し、個人、家族から地域社会まで日本を救うことができると信じています。この課題は核兵器の廃絶と同じくらい重要であり、急を要することかもしれません。

*

平和とは、非暴力的に普遍の安寧を追求することです。それは、すべての人を幸せにし、暴力を使わないで紛争を解決する協同の取り組みをするということです。この分野において、日本の生協は世界でも有数の卓越した手腕と経験を持つ組織です。利益のためではなく、健康で平和で持続可能な地域社会をめざして取り組み姿勢を世界に誇ることができると思います。これからは、日本と米国を行ったり来たりしながら平和に取り組みんでいくつもりです。これからも皆さまの知恵とご支援をいただきますようお願いいたします。

*

最後に、広島県生協連の岡村信秀会長理事、ならびに生協ひろしまの林辰也理事長には特に感謝しています。お二人のおかげで、生協の活動に参加させていただくことができ、平和市長会議の活動にも多大なご協力をいただくことができました。有難うございました。今後とも引き続きよろしく申し上げます。

ご 案 内

2013「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い

- 日時：2013年5月24日(金) 10:00～12:40
- 会場：ホテルチュールリッヒ東方 2001
- 主催：「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い 実行委員会(構成市民6団体(広島県原爆被害者団体協議会、広島県原爆被害者団体協議会、広島県地域女性団体連絡協議会、広島YMCA、広島県青年連合会、広島県生活協同組合連合会)、実行委員会代表は岡村広島県生協連会長理事)
- 後援：広島県・広島市・平和市長会議・(公財)広島平和文化センター
- 申込：5月15日までに県生協連へ

TEL 082-532-1300

【企画概要】

2つの情勢報告(広島平和文化センターより平和市長会議について、広島県より「国際平和拠点ひろしま構想」について)を学んだ後、少人数のグループに分かれて被爆証言を聴き、意見交流します。ご参加をお待ちしております。

2013 ピースアクション in ヒロシマ 新企画

「子どもによる子どものための碑めぐり」ご紹介とガイド募集

2013ピースアクションinヒロシマのテーマは、2011年、2012年に引き続き、「継承と創造～ヒロシマから平和な未来を築こう!」です。分科会では、継承を目的とした新たな企画に取り組むことになりました。

「子どもによる子どものための碑めぐり」は、平和公園内の碑や軍都広島市の歴史、被爆体験の話を聞き、被爆地ヒロシマの子どもとして、原爆や平和について学習した子どもが、全国から集まった子どもたちのガイド役を務めます。5～6か所の碑を回った後、みんなで感想を話し合い交流します。ガイドは小学5年生～中学3年生10名程度、県内会員生協の職員、組合員の子どもさんなどから募集し、ガイド養成講座を受講していただきます。一人でも多くの子どもさんに「ヒロシマの継承者」になっていただきたいと思います。

申込、問い合わせは広島県生協連までお願いします。

申込締切は4月20日です。

たくさんの方のご参加をお待ちしております。

子ども碑めぐりガイド養成講座スケジュール予定

	日 時	会 場	概 要
第1回	5月18日(土)	広島城	広島を学ぶ(軍都広島とヒロシマ)
第2回	6月29日(土)	メモリアルホール	被爆証言を聴く(竹本元日本生協連会長)
第3回	7月6日(土)	平和記念公園	碑めぐり
第4回	7月13日(土)	県連会議室	ワーク～調べて、伝える準備をしよう～
第5回	7月27日(土)	平和記念公園	ガイド予行演習(模擬ガイド)